

《ふりがえり もんだい⑨》

□の中^{なか}に入る^{はい}ひらがなを、あとの（ ）の中^{なか}からさがして書^かこう。

花がさいてみができるのは、み

の

中に

できたたねでなま

を

ふやすためです。

たねができあがるまで、けもの

や

とり

などに食べられたり、雨がかってくさったり

してはたいへんです。クリ

は

するどい

はりのきものをきて、てき

に

たべられ

るのをふせいでいるのです。

（はをやはのにで）

つぎの上^{うへ}のことばにつづくことばを下^{した}からさがして、
せんでおすぼう。ただし、おなじことばは一^{いち}どしかつ
かえません。

① 日^ひが

② うでが

③ ねがい

④ はなしが

⑤ ぶんきようが

⑥ すきなほんを

はずむ

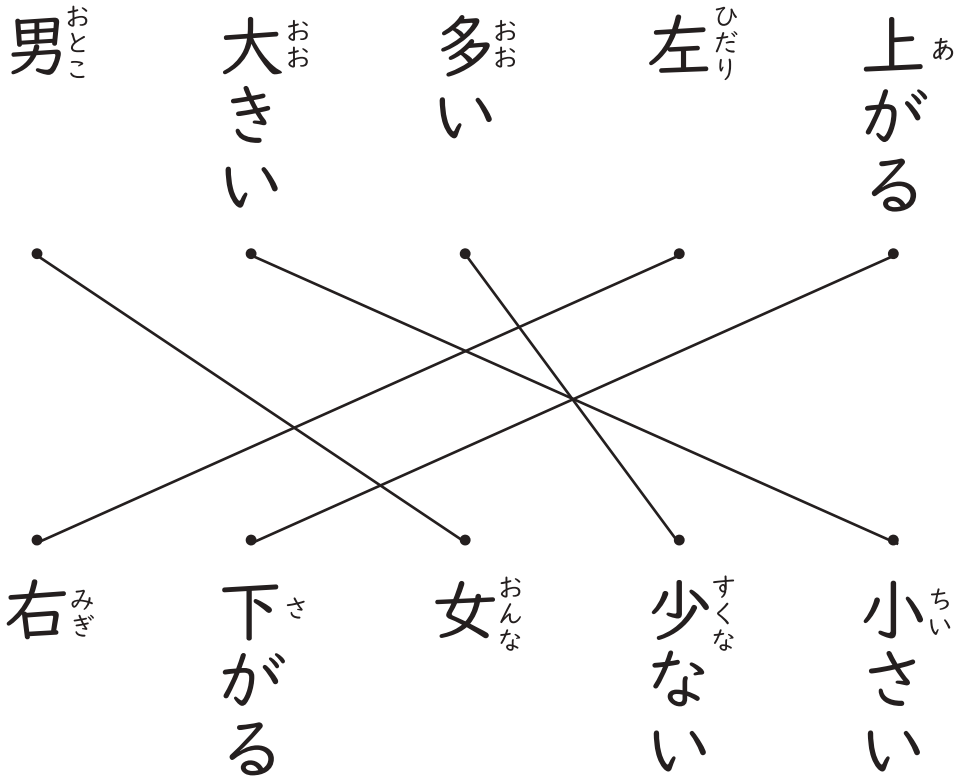
かなう

すすむ

くれる

よむ

あがる



つぎのかん字とはんたいのいみのかん字を、下からさがして、せんでむすぼう。ただし、おなじことは一どしかつかえません。

つぎのことばにつづくことばをします。□の中にアからウを書こう。ただし、おなじことは一どしかつかえません。

① よういができました。では、さっそく

② ずっと やっていたので、すっかり

③ いっしょうけんめいなのに、なかなか

④ いいときにくた。いまからちょうど

イ

エ

ア

ウ

ア おわりました。
イ はじまるところです。
ウ はじめましょう。
エ おわりません。

つぎの 文^{ぶん}しょうをよんでといに答^{こた}えよう。

きのう、小学校^{しょうがっこう}のかえりみちで、しんちゃんが
 いいました。「すごいんだぞ。^① あいつ、うさぎを
 三^{さん}びきもかってんだから。あしたの日^{にち}よう日^び、つ
 れてってやるから、八^{はち}じにバスでいにこい。だれ
 にもいうな。」ゆうくんは、しんちゃんのもとだ
 ちにあったことがありません。でも、うさぎとき
 いて、おもわず「行く。」^② といってしまったので
 す。しんちゃんは、ゆうくんとおなじ一年生^{いちねんせい}なの
 にずっとせがたかく、^③ まるでおにいさんみたいに
 見^みえます。どこへだってひとりで 出^でか
 けることができます。そんなしんちゃんとふたり
 だけでバスにのり、とおくまで行くのです。それ
 はもううれしくて、あさごはんがすむと、おこづ
 かいをぜんぶもって家^{いえ}をとび出^だしてきました。そ
 れなのに、しんちゃんはやってきません。やくそ
 くのじかんから、もう一^{いち}じかんがすぎました。ま
 えのパンやさんのとけいが、 じをさしていま
 す。ゆうくんは、しんぱいになってきました。

(1) —せん①「あいつ」とありますが、だれのこと
 をいつているのですか。アからウからえらぼう。

ア しんちゃん

イ ゆうくん

ウ しんちゃんのもとだち

(2) —せん②「まるでおにいさんみたいに見^みえます」
 とありますが、しんちゃんのどんなところがおにい
 さんのようにかんじられるのですか。□の中^{なか}に入^{はい}る
 ことばを書^かこう。

ゆうくと

なのに、

たかいから。

(3) の中には、次のアからエのことばが入りますか。ただしいいものをえらぼう。

ア おどろいて イ さっさと

ウ こっそり エ おもいきり

イ

(4) —せん③「うれしくて」とありますが、ゆうくんがいちばんうれしかったのは、どんなことですか。アからウからえらぼう。

ア しんちゃんのともしだちにあえること。

イ うさぎを三びきも見にいけること。

ウ しんちゃんとふたりだけでバスにのって出かけること。

ウ

(5) もういちど、—せん③「うれしくて」とありますが、ゆうくんがうれしくてたまらないでいることは、ゆうくんのどんなようすからわかりますか。□の中に書こう。

あさごはんがすむと、
おこづかいをぜんぶもって
家をとび出してきました。

(6) の中には、あるすうじ(じかん)が入ります。ただしすうじをかんがえて書こう。

九

じ

つぎの 文^{ぶん}しょうをよんでといに答^{こた}えよう。

① ピッチはおそろおそろあいつにちかづく^②と、おもいきって言^いってみた。「きみきみ、どうしてまだここに^③いるんだい。」すると、「ああ。」と、あいつはつぶやいた。ピッチはもう一^{いち}どゆうきをだして、「いったいきみはだれなんだい。どんなにんげんなの。」ときいた。「ああ、ぼくはにんげんじゃあないんだよ、かかしさ。」あいつは、げんきなくこたえた。「かかし？」そのとき、あいつの目^めからぼちとなみだがこぼれた。かかしはしずかにはなしはじめた。「ぼくはにんげんにつくられたのさ。そしてきみたちを、おいちらすやくめをいつかつたんだ。だけどあきのおわりになると、にんげんは^④ようのなくなった^⑤ぼくをおいてったのさ。それからさむい がきて、ほんとうの一人^{ひとり}ぼっちになつてしまったんだよ。ぼくはうごけないのさ。ほんとうはきみたちからすがうらやましかったんだ。」ピッチはかかしのはなしをきいてびっくりにした。「そうなのか。」

⑤ ピッチは、なんだかかかしがかわいそうになつて

きた。

そして、かかしのためになにかしてあげたいともうようになつた。「それじゃあ、きみはいまどうしたいんだい？」すると、かかしは「ぼくはとびたいんだ！」ピッチからはなしをきいて、なかつた。またちもかかしのところへあつまつてきた。

(一) — せん① 「ピッチ」とありますが、ピッチとはなんですか。アからイからえらぼう。

ア にんげん
イ かかし

(二) — せん② 「おそろおそろ」とありますが、ピッチのどんなようすをあらわしていますか。アからウからえらぼう。

ア みつからないようにこっそりちかづくようす
イ こわいきもちをおさえながらちかづくようす
ウ こわいかおをしてちかづくようす

イ

ア

(3) ピッチは、「あいつ」のことを、はじめはなんだとおもっていましたか。アからイからえらぼう。

ア にんげん
イ かかし

ア

(4) ―せん③「ここ」とありますが、どこのことですか。アからエからえらぼう。

ア たんぼの中なか
イ 森の中もりなか
ウ 川の中かわなか
エ いえのまえ

ア

(5) 「あいつ」は、なにを、どうするやくめをもっていましたか。□の中なかに入ることばを書かこう。

にんげん (きみたち)

を

おいちらかす

やくめをもっている。

(6) ―せん④「ようのなくなった」とありますが、おなじいみのことばを、アからウからえらぼう。

ア こわれてしまった
イ よごれてしまった
ウ いらなくなった

ウ

(7) □にあてはまるきせつをアからエからえらぼう。

ア はる
イ なつ
ウ あき
エ ふゆ

エ

(8) ―せん⑤「ピッチは、なんだかかかしがかわいそうになってきた」とありますが、ピッチはどうしてかかしがかわいそうになってきたのですか。□の中に入ることはを書こう。

あきのおわりに

なると、

ようのなくなった

かかし

は

おいていかれる

から。

(9)

にあてはまることをばを、アからエからえらぼう。

ア もうたのしくはなかった。

イ もうこわくはなかった。

ウ もうしかたないとおもった。

エ もうおこってはいなかった

イ